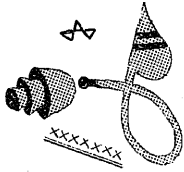


個別指導について

— 記録法による —



子 順 分 国

個人の尊厳、個性の尊重は、憲法、教育基本法、学校教育法を一貫して、民主主義社会形成の基礎的な精神である。私達はまず一人一人の子供をそれぞれ幸福になれるように考えて指導しなくてはならない。それには指導者が一人一人の子供を充分に知ることが先決問題である。一人一人の子供を知るといふことは生やさしい問題ではない。絶えず子供達に接触することの必要はいうまでもないが、更に一步を進めて生活を共にしている間に子供の具体的な動きの中から子供を知るに必要な資料を蒐集しなくてはならない。蒐集した資料は必ずこれを記録に残すことを怠つてはならない。今迄の実践活動の中において最も貧困なものは記録である。この意味から逸話記録法による資料に基いてまず子供をよく知り、子供をよく知つた上に立つて、個別的な指導を実践することが、一人一人を幸福にする大切な一つの方法である。次に日々の逸話記録の中から具体的

な個人について記録と個別指導の実際を例示して見よう。
家庭環境

一、両親健在
一、昭和二十二年二月二十二日生
一、満四才 一人子 女兒

記録

- 一、大きな声で部屋を駆け廻る。門の前でおしつこをする。(四、一六)
- 一、自分の引出し帽子掛け下駄箱等がわからない。(四、一八)
- 一、靴下がはけないと言つて大きな声でわめく。(四、一九)
- 一、製作の時、自分の前に折紙のり紙が無いと言つて泣く。(四、二〇)
- 一、鬼ごつこで元気に遊ぶ。(四、二二)
- 一、自分の帽子掛、引出し等まだ覚えてない。(四、二三～二六)
- 一、大きな声を出してわめく。(四、二六)

一、このぼりのこいが折れない。

(四、二七)

一、特別に言はないと坐らない。

(五、一四～二二)

一、粘土でおだんごを作る。

(五、一七)

一、自分で物を探さないですぐべそ

をかく。(五、二二)

一、少し変つている。「遊ぶ時はバ

スケットを置きましよう」と言

つても決して自分から離さな

ら。(五、二五)

一、今日もおべんとうの後自分から

バスケットを離さず、一生懸命

持つている。(五、二九)

一、まだ椅子に坐らない。おさえる

様にして坐らせる。(五、三〇)

一、運動会のリズム遊びが出来ない

その発表画も画けない。(六、五)

一、自由画が画けない、楽器ハンド

カスターを自分ではめる事が出

来ない。(六、九)

一、特に、「坐りなさい。」とらつし

やい。「置きなさい。」と言う迄
その辺をふらふらしてゐる。

(六、一一)

一、相変わらず何もしない。一日ぼん
やり過す。自由画が画けない。

(七、九)

一、今日はめずらしくナイロンのう

でわについて先生と話しをする

(七、一一)

一、あいさつがやつと出来る様にな
る。(七、一二)

指導の実際

入園当時は、唯無我夢中で大声を出し
て部屋をかけ廻つた。人の迷惑にもな
るし、お話しもきかれないからと、極
くわかりやすく説明する。しかし何の
反響もなかつた。又時々大声を出して
かけ廻る。私はそれから少しだまつて
見ていた。但し十日も経つと落着いて
来た。困つた事には、自分の引出し、
帽子掛け、靴箱等が容易に覚えられな
かつた。その度に子供を連れて行き、
片や取つて場所を教える。それでもし

まう時には又わからない。クレヨン画
帳を持つてうろ／＼してゐる。五月に
入つてやつとわかつた。引出しにはい
つもクレヨンと画帳が入つていた。変
つてゐる一例として、「さあ坐りまし
よう」と言えば普通の子供は一度で坐
る事が出来るのに、この子供は坐らな
い。椅子があつても坐らない。私が無
理におさえる様にして坐らせないと決
して自分から坐る事をしない。その度
毎にそこに行き、坐らせる習慣をさせ
た。何か原因でもあるのかと思ひ様子
を見ていたが、別に何の原因も見つが
らなかつた。これも、しばらくの間に
直つた。一方では、あいさつも出来な
ければ、絵も画けない、一体何の喜び
で幼稚園に来るのか、私にはわからな
くなることさえあつた。お友達を作つ
てあげたが、余り遊ぼうともしない。
絵を画くときは、いつもごそ／＼と机
の下の方でかく。何を画いてゐるのか
わからない。自分は下手だから、何か
お友達から言はれないか、と言う気が

あるらしい。こういう子供こそ、ほめる事によつて、指導することが必要であると思ひ、小さなことでも良いから何か自信を持たせたいと言ひ考えて、此の絵について子供同士で批評させてみた。子供達は思ひまゝに絵について話し合つてゐる。「下手だ」「変だ」「小さい」「何んだかわからない」と全くその通りである。こゝでほめた事が指導上良い事か悪い事かわからないが、ほめ過ぎる程ほめてみた。「今日は一生懸命画いたので、ずい分上手に画きましたねえ。ほらこゝに可愛いお花も咲いてゐるしずい分お上手ね。先生もびつくりしてしまいましたよ。A子ちゃんだつて一生懸命画けばこんなに上手に画けるのね、又たくさん画いて見せて丁戴ね。」二三人の子供は、「あれが上手なのか。」と不思議そうに私の顔を見ていた。その時のA子の様子を見ると非常にうれしそつた。しかし他の子供に与えた影響はどうであつたか、心配であつた。そして、私

がつい可愛いお花と説明してしまつたが、私にはそう見えたのであつてその子は何のつもりで画いたのであるか。A子に話しが出来れば、こんな失敗は無かつただろうと思つた。しかしA子もお花を画いたのでだろうと、私は自分を自分で安心させた。それから後絵を画くと見せに来る。そこで少しづつ絵の指導を行つてみた。割合上手に画く様になつた。しかし性格の現はれであらうか、いつも小さい線の細い絵を画く、少しは絵に対する自信がついたらしい。

何故話しをしないのか。その原因を調べてみた。話しをしたくない時の心理として、場所の違い。恥しい気持。要求が過大な場合、生活環境の違い。その他いろいろあると思ひが、こういう場合の指導法としては、話しよい場を作る事、子供の生活に必要な話題を見つける事が必要ではないかと思ひ、無理にも話題を見つけ、そういう場を作つてみた。丁度ナイロン流行期だつた

ので、子供達は皆んなナイロンのうでわをやつてゐる。A子も両手にやつてゐる。「ずい分きれいなね。どなたに編んで戴いたの。」返事をしない。「先生に一寸貸して下さい。」貸してくれ。「先生に丁度いいわ。先生戴こうかしら。」と言つてみた。返事をしなければならぬ反強制的な場に置いた。「いやよ。」と言つた。もう一度今のをくり返してみた。又返事をする。「それじゃ取つて丁戴。」と言つて私は手をひろげて出した。すると、「もつと手を小さくして」と言つた。こんな一寸した会話が話し出来るきつかけになつて、だん／＼話せる様になつたのかも知れない。それから後もいろいろ話しをしないでならない場を与えてやり生活に必要な話題をみつめて、話の指導をした。正しい言葉への指導は、まづ普通に話し出来る様になつてから除々に直すことにして、最初のうちは唯話をさせる事に主力を注いだ。従つて言葉の使い方が少し違つていようが

今は言葉を随ず機会だとは思つていない。しかしその機会を逃さぬ様にして正しい言葉の指導を行つてゆかなければいけないと思う。あいさつ等でも無理に形式的に教える事は、意味のない言語指導ではなからうか。と思つていたところ、七月十二日にその子は元氣よく部屋に入つて来た。私はかくれて見ていた。部屋に入つて第一にする事は何であろうかと。しかし意外な事に誰となしに、「おはよう御座います。」という言葉が自然に出た。私はとても嬉しかつた。一学期の最後にやつと、自分の自然の言葉として、あいさつの言葉が出たのであつた。「Aちゃんおはよう御座います。」と私も知らないうちに言つてしまつたのであつた。その日はみんなの前でA子の朝のあいさつについてほめた。ほめる事は、子供が小さいだけあつて、非常に必要な指導の手だての一つであるということの確信を深めた。A子の場合は大体内対一の割合でほめる指導をやつてゐる。

しかし生長するにつれて、指導法も変らなくてはならないと思うが、要は子供をよく見つめて、その機会をのがさない様にするのである。

四才児の心理的発達から考へても此の子供とは、非常に大きな違いがある事を見出した。入園当時と比べて少しは進歩し、成長したと思つてゐるが、研究はこれからである。テストの問題も残つてゐるが、まだ具体的なテストは行つてゐない。その結果も大きな研究問題となるであろう。絶えず心を配つてじつとこの子を見つめ乍ら指導していきたい。

逸話記録法だけが一人一人の子供を知る唯一の方法だとは言えない。たゞこの方法による記録をとることは、私達が観察に習熟するきつかけになり、子供の具体的な行動を理解する手がかりとなるところに特徴がある。子供が小さければ小さいほど、指導の実際は具体的な事柄について指導することが大事である。この意味で逸話記録法は幼

稚園及び低学年の子供に良い方法であると思う。毎日々々四十名以上の子供の行動について記録していく事は容易ではないが、あまりとらわれないで子供を帰した後で、記憶に残つてゐる程度のことを記録することから始めていけば決して困難ではない。これを指導の資料にし、評価の資料にする等については一層の研究を進めたいと思つてゐる。

(南山幼稚園)

(11頁より)

栄養、睡眠、鍛練によつては一年中、最も發育を促進することの出来る好機でもある。われ／＼はこの好機を逸することなく、乳児は乳児なりに、幼児は幼児なりに、又、虚弱児にはそれなりに、夫々適當の鍛練を行つて、来るべき冬の最悪の季節に対する抵抗力を強めておく工夫が肝要である。